

平成 28 年 11 月発行

第 43 号

発行 有田川町議会
発行責任者 議長 佐々木 裕哲
住所 〒 643-0021
和歌山県有田郡有田川町
大字下津野2018番地4
TEL 0737-52-2111
FAX 0737-52-2198

<http://www.town.aridagawa.lg.jp/profile/gikaikoho.html>

有田川町議会広報 大わら版



大舞台 拍手喝采 二川子ども歌舞伎

一般質問	2～9
子ども議会	10～14
各議案	15～18
常任委員会視察報告	19

9月議会 全議案可決する

第2回 子ども議会開催!

～ 自熱した議論を展開 ～

一般質問

7議員が質問

平成28年第3回定例会は9月7日から20日までの日程で開催し、本定例会に提案された議案は原案の通り可決しました。
なお有田川町議会平成28年第4回定例会は、12月6日開会の予定で、一般質問は12月14日・15日に予定しています。

- 1. 殿 井 堯 … 3ページ
- 2. 森 谷 信 哉 … 4ページ
- 3. 辻 岡 俊 明 … 5ページ
- 4. 小 林 英 世 … 6ページ
- 5. 林 宣 男 … 7ページ
- 6. 増 谷 憲 … 8ページ
- 7. 堀 江 眞智子 … 9ページ





今後も合併特例債の活用はあるのか 金屋第一、第二保育所の統合は

殿 井 堯

残っている合併特例債の
使い道は

町 長
約16億円の予算を
計画している

質問 当初122億円以上あった合併特例債も残り23億円余りとなっている。平成32年度でこの特例債は終了となるが、残り予算の使い道について問う。

町長 合併当初は旧3町それぞれに課題があり、特例債を利用することにより、さまざまな問題を解決することができた。

今後の計画としては、小川地区の農村総合整備事業や育成林整備事業、防災・安全交付金事業などに、合計約16億円を計画している。

その後、残った予算についても検討し、有効に活用していく。

質問 公平で無駄のない公共事業の実施をするために、施工業者選定の入

札までの仕組みはどのような
っているか。

総務政策部長 入札までの流れについては、担当の各課が作成した設計書をもとに指名業者案を出し、その後入札資格審査会を開き、それを受けて町長が業者を指名し、入札という運びになる。

質問 工事の積算については、町が委託した建設コンサルタントが行っているものであるが、その積算だけでは不十分で、町独自による予算の積算が必要ではないか。

一級建築士の資格を持つ町職員がいるので、専門的な内容をきちんと精査できるように、専門の部署をつくってはどうか。

町長 現在、一級建築士の資格を所有する職員が2名いる。

指摘のとおり、今後のためにも専門的な部署を視野に入れ、積算内容の精査に努めていく。



72人の園児が通う金屋第一保育所

金屋第一・第二保育所の
統合計画はあるのか

教育長
統合も視野に入れ
る必要がある

質問 金屋第一保育所と第二保育所は、園児が減少し、定員割れの状態になっている。第一保育所の開所から28年が経過しているが、耐用年数などの問題も含め、両保育所を統合する計画はあるのかを問う。

教育長 園児数は、3年

後には第一保育所は横ばい。第二保育所は半減する見込みである。

園児数の推移については、予測しにくいですが、統合も視野に入れる必要がある。

教育部長 第一保育所は築28年となるが、鉄筋コンクリート建てで、耐用年数については若干の余裕がある。

耐震についても両保育所ともに耐震構造になっている。

質問 第一保育所の敷地は借地である。賃借料に年間330万円の予算を必要とする。この金額は高くはないのか。今後、賃借料を見直しするのか。

町長 借地の賃借料については、平成21年に見直しをして一度値下げをしている。

しかしながら、今後も見直しを図り、土地の買い取りなども検討していかなければならない。

ふるさと納税の現状は 地場産品のさらなる発掘を



森 谷 信 哉

ふるさと納税の取り組み

町長 寄付をしてもらいやすくしていく

質問 昨年度のふるさと納税は、総額で2億3026万1500円であったが、今年度の現在までの納税額はいくらか。

町長 今年度は8月末現在で、2194件の4254万円となっている。昨年度の8月末現在では7245万円だった。比較すると約58%となっている。

質問 基金から、今年度は1億880万円取り崩している。

どのように、活用したのか。

町長 育児支援事業の第3子祝い金、チャイルドシート補助、インフルエシオン補助、ふるさと体験施設指定管理事業、3人っこの対策事業、学校インフラネットワークシステム管

理事業、みかん消費宣伝活動事業、ふるさとづくり事業などに活用した。

質問 今後、もたくさんの方に納税をしていただくために、どのような広報をしていくのか。

また、納税者には税金の使い道を知らせるのか。

町長 ホームページなどのインターネットでPRすると同時に、商工観光課と連携して、物産販売などのイベント時にパンフレットを配っている。

また、寄付をいただいた方への使い道のお知らせについては、町のホームページでの掲載をしていきたいと考えている。



謝礼品のカタログ（町ホームページから）

参入業者数は27である。

寄付をしてもらいやすいように、今後は品数や参入業者を増やしていきたい。

質問 本年度は、基金の残金があり、今後もふるさと納税を見込めると思うが、どのように活用していくのか。

町長 今後、寄付をいただいた方のご希望に沿った事業を各課に聞き、平成29年度において、活用していきたい。

意見 全国的に競争も盛んだが、ふるさと納税をPRするのであれば、地元への応援団体に声をかけてはどうか。

販売手数料がかからないので、これほど地元業者にとって有利な制度はない。

参入業者にとっては、よいPRになると思うので、今後も担当部署でがんばらきたい。

町長 現在謝礼品の品数は202品目で、町内の

町長 参入業者を増やしていきたい

質問 地域活性を目的としているのであれば、地場産業育成の観点から、商工会・JAなどを通じて、地元農家や商店にさらなる働きかけをしてはどうか。



『上湯川岳』の周知と町の活性化 学校評議員制度の現状

辻 岡 俊 明

「上湯川岳」の周知と町の活性化を

パンフレットやガイドマップに記載して周知する

【質問】 町内にある最高峰（1261m）に名前がないことが分かり、新たに制定された祝日「山の日」にちなんでその名前を全国から公募した。

その結果、全国から599点の応募があり、最終的に神奈川県の方が推奨した「上湯川岳」と決まったが、この名前も国土地理院に公認されたものであるのか。

今後その名前の周知をいかにして図り「上湯川岳」を町の活性化にどうつなげていくのか。

町長 山の名前は、有田川町、日高川町、田辺市の13人からなる「有田川町で一番高い山名前選定委員会」で7月19日に「上湯川岳」と決められた。今はまだ国土地理院

公認の名称ではない。

今後この名前を観光案内パンフレットやガイドマップなどに記載して、町内外の皆さん方に周知していきたい。

町活性化への取り組みについては、山が民有地であることからいろいろと課題があるが、多くの方々に「上湯川岳」を知ってもらい、親しんでいただくためにその活用を考えていく。

【要望事項】（ガイドマップの改訂時に）

○ガイドマップ内の観光スポット（蔵王橋ほか

12カ所）の囲み表示

○広域基幹林道白馬線をマップに記載

○お勧めドライブルート（3ルート）の記載

○道の駅、どんどん広場 キャンプ場などの文字 強調表示

学校評議員制度の成果は

教育長 学校の取り組みに理解・協力が得やすい

【質問】 開かれた学校づくりに資することを目的として学校評議員制度が設置・施行されている。

この制度の施行に当たり、どのようにして学校評議員の人選・決定をし、各学級で制度の主旨を生かすために学校評議員がいかに関わ

っているのか。そしてどのような成果が上がっているのか。また何が課題なのかを教育長に聞く。

教育長 人選・決定については、地域に開かれた、信頼される学校づくりを推進する観点から学校職員以外で、教育に関する識見と理解のある方を学校長に推薦してもらい、教育委員会が委嘱している。

学校目標や教育方針、教育実践、地域の子どもの姿についてたくさんの方の意見をいただいている。そういうことを通して、地域の方々の意向を把握し、教育活動に反映できることや学校の取り組みの理解・協力が得られている。

学校のさまざまな課題に対して専門性を持つ人材確保や、評議員を介した、より効果的な地域の人々との連携が課題である。



有田川町最高峰「上湯川岳」の標識

地方創生総合戦略の現状と課題 防災情報と防災訓練



小林英世

2年目の地方創生総合戦略課題は

町長 認定された計画を確実に進めること

質問 地方創生も2年目。わが町の現状と課題を問う。

町長 平成27年10月に本町の総合戦略を作成し、住みたいまちづくりとなるよう12の事業を行ってきた。

主な事業

- ① プレミアム商品券 1718万円
 - ② 子育て応援券給付事業 3854万円
 - ③ インフルエンザ予防接種 1035万円
 - ④ 6次産業支援化事業で 500万円
 - ⑤ 魅力再発見観光プロジェクト事業で 1000万円
- これらの成果を有識者会議や総合戦略策定委員会で検証・見直すことで、より実効的な総合戦略の

推進を図っていく。課題は、交付金は単年度で終了。平成28年度から事業名目も変わり、採択が難しく、当初の見込み通りにはいかないことだ。

質問 今後、どのような事業を計画しているのか。

町長 廃園保育所利活用未来づくり事業として、4255万円。田殿保育所を改修して、子育て世代のコミュニティの場、起業支援の場としてポートランド市の取り組みを参考にしていきたい。

また、絵本まちづくり総合推進事業として、3年間で5000万円。地域経済循環創造事業の2000万円を計画している。

質問 創生事業の町負担はどうなっているのか。

町長 事業費の総額は3億2000万円。国の交付金が1億80

00万円。町は1億4000万円を負担する。

ハザードマップをどう生かす

町長 完璧でないが防災意識を高めるために

質問 本町が公表している「洪水」と「ため池」のハザードマップは何を表しているのか。

町長 洪水は100年に一回程度の大雨を、ため池は満水時の決壊を想定して作成している。しかし、このハザードマップは完璧なものとは考えていない。被害を予想し、避難経路を確保するために活用してほしい。近年、想定を超えることが増えている。「自分の命は自分で守る」という気持ちで防災意識を高めてほしい。

質問 ハザードマップの浸水被害想定区域に避難所があるが、どう考えているのか。

町長 状況をおまえ、ハザードマップを参考に安全な場所に早く避難してほしい。避難場所が無いときは、その場で2階以上へ避難してほしい。

町主催の防災訓練を実施したらどうか

町長 早急に実施したい

質問 本町の防災訓練の状況はどうか。

町長 自主防災組織を主体に実施している。町は情報伝達など一部の訓練を行っているが、全体では実施していない。

質問 いざというときに行政の指揮系統は機能するのか。

町長 確認の訓練をしたらどうか。

町長 有事の際に備え、機能するよう早急に訓練を実施したい。

ため池を有効活用し地域活性化を 小島区町道への信号機設置を 町内小中学校入学式、卒業式は休日に



林 宣 男

ため池を有効活用し地域活性化を

町 長
前向きに進める

質問 ため池の水面上を利用した「水上太陽光発電」が注目されはじめています。有田川町にも大小合わせて約460個のため池がある。

県内初となるため池を利用した水上太陽光発電の導入により、自然エネルギー事業に取り組んでみてはどうか。

町長 水上発電については昨年一業者から話はある



農業用ため池水面を利用した太陽光発電施設（兵庫県）

つたが、水利組合の同意が必要という話をした。有田川町でもクリーンエネルギーの大切さを重視し、企業誘致により設置した10基の風車に加え、新たに白馬山系にも風車を設置する計画が進んでいる。

二川での小水力発電も開始し、効果をあげている。今後有利な補助制度を活用しながら前向きに事業を進めていきたい。

小島区町道への信号機設置を

町 長
公安委員会に要望していく

質問 最近、小島区の町道、酒本運輸近くの交差点で続けて事故が起こった。以前にも重大事故が同じ交差点でしばしば起きています。

この交差点への信号設置を町から要望していただけないか。



町道 小島地内交差点

町長 その交差点については、事故が多いと承知している。

小島区長と相談して要望書をあげていただき、公安委員会に要望していきたい。

町内小中学校の入学式卒業式は休日に

教育長
さまざまな状況を研究して学校と協議していきたい

質問 公立小学校、中学校の入学式・卒業式は、平日行われることが多いので、式に出席するためには、保護者は仕事を休まなければならない。

中学校の卒業式は、県立高校の入学試験を控えているため、日程を変えないが、町内小中学校の入学式・卒業式は、休日に行うてはどうか。

教育長 学校行事の日程は学校長が設定している。小中学校の卒業式や入学式を休日に行うことは学校長からの届け出があれば可能だが、平日に教育活動を行うことが原則とされている。学校教育法施行規則において学校の休業日として国民の祝日、日曜日、土曜日が設定されている。

学校の休日に実施した場合、生徒の負担、代休などのさまざまな課題があり、平日開催となっている。

今後、さまざまな状況を保護者の意見や動向をみながら研究し、学校と協議をしていきたい。

地域防災計画の具体化、 高校卒業まで医療費助成を 有田中央高校清水分校の活性化を



増 谷 憲

防災計画の具体化はしているか

町 長
アクションプラン
に具体化

質問 地域防災計画が見直しをされた。今後10年間で被害想定を半減する目標の具体化はどうか。

総務政策部長 アクションプランに盛り込んでいきたい。

質問 那智勝浦町のアンケートでは、災害時に3割の方が避難しないと回答している。避難の啓発をどう進めるか。

町長 地域の方々の協力しかない。機会あることに啓発したい。

質問 福祉避難所に指定された特別養護老人ホームや老健施設と避難者を受け入れる協定を結んでいるが、受け入れ体制はどうか。

福祉保健部長 6カ所指定されているが、施設に

より1人から30人受け入れられる用意がある。

また、介護支援者も1人から15人配置される予定である。

質問 避難所のトイレを和式から洋式に改修されたい。

町長 可能な施設から順次改修を進めたい。

質問 県の耐震シェルターや耐震ベッドの購入助成を予算化されたい。

町長 補正予算で1件分予算化した。補助対象額は40万円で上限額は26万6千円。

高校卒業まで医療費助成としては

町 長
前向きに考える

質問 高校卒業まで医療費を助成する予定の市町村は8つある。

当町も平成29年度から実施されたい。

町長 医療費助成の実施は前向きに考えていく。

①国の国保国庫負担金を減額するしくみ

減額調整率 (負担金を減らす割合)	窓 口 負 担	町が医療費を助成	医療費1割負担	町が助成していない場合
		小学校就学前(2割)	0.8611	0.9349
	小学校就学以降(3割)	0.8427	0.9153	1

②国保普通調整交付金を減額するしくみ

人口区分	国保税収納率90%以上92未満	87以上90未満	84以上87未満	81以上84未満
人口1万以上 5万人未満市町村	5%	7%	9%	11%

①+②の比率で計算した合計が減額分となる

質問 町が独自に医療費助成していると政府は国保への補助金を減らしている。その額はいくらか。

住民税務部長 平成27年度で約346万円である。

質問 町長は、政府によるこの制裁措置をどう思うか。

町長 納得いかない措置である。本来、国の制度として無料化すべきである。

有田中央高校清水分校をもっと志願者が多く来る学校に

町 長
県と協力していく

質問 有田中央高校清水分校の歴史をみると、地元の方々や当時の清水町の協力で今がある。生徒数の減少が心配であるので、仮称「分校魅力化プロジェクト」をつくり学校を盛り上げていただきたい。

町長 県にも要望し、生徒確保のために協力していく。



子育て支援をもっと充実して 要支援者への対策をしっかりと

堀 江 眞 智 子

**要支援1・2の方の
サービスは**

町 長
今までと変わり
がない

質問 来年度からの要支

援1・2について、利用者にはこれまで通りのサービスを提供できるのか。財源はどうするのか。

町長 訪問介護・通所介護サービスを日常支援総合事業に移行するが、訪問介護・通所介護以外のサービスは変更がない。現行のサービスを継続して提供する。

財源は現状のまま移行するだけで、今までと変わらない。高年齢者住宅に入っ

質問 高年齢者住宅に入っ

てサービスを受けている方などは、今以上にお金がかかるのではないかと心配している。不安を解消し、変わりが無いことを周知徹底していくようにしては。

町長 いろいろな機会に、変わりが無いことを周知

徹底していく。

産科体制の充実を

町 長
1市3町協力して
県に働きかける

質問 有田市立病院で出

産ができなくなって3年がたった。

市立病院で出産ができなくなってからの出産場所の状況、また、産科の状況はどうなっているのか。

町長 産科については有田川町だけの問題ではなく、和歌山県全体の問題である。人口を増やす観点からも猶予がない。

有田川町内の個人病院では、昨年の出産人数は213人中102人である。1市3町で協力して県に働きかける。

病後児保育の延長を

教育長
調査・研究して
検討する

質問 町内のクリニック

に、病後児保育ができてから「大変うれしい」という喜びの声がある。しかし、5時30分までだと仕事の関係で、預けられない場合がある。

町内保育所と同じように、延長することはできないのか。

教育長 病後児保育事業は、平成24年度から始まり、有田川町・広川町・湯浅町の共同事業で、年間650人が利用している。午前8時30分から午後5時30分まで実施しているが、今後も調査と研究を行い検討していく。

保育所待機児童について

教育長
保育所と連携して
対応している

質問 出産を控えている

妊婦さんが、年度途中で上の子を保育所へ預けた時、難しいのではないかと考える。対策はどうか。

教育長 町内・町外・私



立保育所と連携して対応している。昨年度は年度途中で54人の受入となっている。

**就学援助の入学準備金は
入学前に**

教育長
負担軽減の工夫も
している

質問 中学の入学準備は、制服購入など出費が大である。入学後の支給ではなく、入学前に支給してはどうか。

全国的には、いくつかの自治体で実施している。よいところを見て取り入れていただきたい。

教育長 入学準備の対象経費以外のものでは、負担軽減の工夫をしているものもある。近隣市町村を見ながら研究する。

—平成28年第2回子ども議会—

福祉・観光・教育・防災を 熱い思いで問う!

八幡中学校
2、3年生

平成28年第2回「子ども議会」が8月4日(木)有田川町議会議場で行われ、町立八幡中学校の2年生、3年生18人が参加しました。

生徒たちは、全員が初めての経験であり、最初は緊張感が漂っていましたが、円滑な議長の見事な進行、議員の確かな質問や資料の掲示など創意工夫がみられました。
今後有田川町を担っていく若い力に期待します。



質問内容と答弁

1 班
老人福祉、
少子化対策
について

質問 清水地区の高齢者介護保険施設や介護職員数は足りているのですか。
町長 有田地域全体で考えると、施設や職員数はほぼ確保できている。
質問 町の子育て支援は、どのようなことをしているのですか。また、清水地区へ公園をつくる計画

はありますか。

町長 乳幼児相談や育児サロンを清水保健センターで行っている。また、保育料の無料化や学童保育、中学校卒業までの医療費無料化など、さまざまな政策を行っている。公園については計画していないが、子どもが遊べる環境整備に努めたい。

2 班
若者の定住、
清水の観光に
ついて

質問 私たちは、清水の

まちに自信と誇りを持っています。しかし、働くところが少ないので若者が定住できません。

町長 休廃校施設を活用した企業誘致を考えている。また、空き家対策や伝統的産業などにも支援を行いたい。

質問 あらぎ島展望所の案内看板が少ない。ぶどう山椒を含めた清水のアピールをもっとしてはどうですか。また、自然を生かした大規模アスレチック施設を清水地区へ建設してはどうでしょうか。
町長 看板は早急に検討する。大規模施設は、高額な建設経費の工面や多様な課題が解決できれば、社会情勢などを見極めたうえで検討したい。

産業振興部長 看板は、今年度中に新たなものを設置する。

山椒は、企業の力を借りて商品化するなど、素

響く開会宣言

材としての高い評価を得ている。

しかし、生産者の後継者不足などの課題克服が急務となっている。

3 班
過疎地の教育、伝統行事、八幡中学校施設について

質問 清水地区の児童や生徒の数がどんどん減っています。学校の存続にも関わってくるので、今後の過疎地教育をどう考えていますか。

教育長 複式教育や体験学習、他校との合同学習などを考えている。存続については、保護者や地域の意見を尊重する。
質問 中学校卒業後の進路選択を多様化するとともに、保護者の送迎などの負担をなくすため、藤並駅と清水を結ぶ特急バスの運行を提案します。
教育長 制度上バス運行



緊張の中 議場に

は不可能なので、他の補助制度を利用してほしい。

質問 清水地域には、「御田舞^{おんたのまい}」をはじめ伝統的な文化があります。しかし近年、行事の担い手が少なくなり存続が危ぶまれています。地域文化の衰退を防ぐため、町はどんなことをしていますか。

教育長 技術や知識を保存し、将来へ受け継ぐために映像記録や報告書を作成している。
質問 八幡中学校体育館

は古くて狭い。避難場所にもなるので、新しい体育館に建て替えてはどうですか。

教育長 地域の方々とともに耐震補強と改修を行うっており、体育の授業に支障がない。当分の間使用していただきたい。

4 班
通学路の危険、国道480号、町道の整備、防災対策について

質問 通学路で危険な所は清水地区大淵橋付近と

針原の2カ所。信号機設置と改修を希望しますが、県と町の対応は。

町長 信号機は、地元区長さんと相談して県公安委員会へ要望する。改修は、県が計画していることだ。

建設環境部長 針原の改修は、平成32年度に完成予定。道幅は7メートルになる。

質問 国道480号、二川ダム湖周辺は急カーブばかりです。橋をかけて直線にできませんか。

町長 道幅の狭いところから改修を行っている。急カーブの解消は後になる。

質問 生石山を越えて紀美野へ行く町道は狭くて危険な所ばかりです。整備するのですか。

町長 有田川町の管轄は2車線になっている。紀美野町側については、話をしている。

建設環境部長 問い合わせたところ、溝ふたを設置し、道幅を広げるとのことであった。

質問 大雨や地震のとき、清水地区の仮設住宅、避難場所、食糧確保などの防災対策はどうなっていますか。

町長 仮設住宅は、しみず若者広場、避難場所は30カ所を指定している。食糧などは清水会館へ備蓄している。また、9カ所のヘリポートも指定している。

子ども議会体験して



生徒たちの感想

質問を終えて生徒のみなさんに感想を寄せさせていただきました。ご紹介します。
(感想文は各班から代表してそのまま掲載しています。)

町づくりを肌で感じた

3年 井本 瑛希

議長をやらせてもらって、終わるまですごく緊張していました。議会が終わって、ようやく肩の荷が下りた感じでした。やはり、その場の雰囲気、かなり変わってくるなど思いました。

今回、生で議会を見ることができるとも良かったと思えました。自分たちの町のために、どんな人たちが、どのようにして町づくりをしているのかを、肌で感じとるこ

とができ、とても良かったと思います。また、自分たちで今の清水などのことをしっかり調べられて、今何が問題なのかを自分たちで理解することができ、それだけでも良い経験になったと思いました。

貴重な体験をして、あらためて思うことは、僕たちは本当にタイミンが良かったということだと思います。もし八幡中に来るのが後1年遅ければ、僕はもうこの体験ができていないから。本当に恵まれているなど思いました。今後、この経験は、たくさんの方に生かせると思うので、大切にしたいと思います。

初めての体験を将来に

生かしたい

3年 松本 佳那恵

私たち八幡中学校の生徒は、8月4日の木曜日に吉備庁舎で第2回「子ども議会」をしました。初めての体験がすごく多かったのですが、新しい知識がたくさん増えました。町長さんをはじめ説明員の皆さまにはとても感謝しています。ありがとうございました。



2班 (北野遙大・筒井堅斗・東前奈帆・松本佳那恵)



4班 (二澤歩夢・柳本千陽・松場大起・上西文香・三隅誠也)

私は、議会というものがどのようにやられているのか、そこで何を話されているのかなどが分かっています。でも、ですが、この体験をさせてもらい壇上で話す時はまず一礼をするなどいろいろなルールを知りました。自分の名札を立てておかなければ欠席と見られるということも初めて知りました。

そして、前で私たちが

質問したことを、よく理解してくれ、具体的にどうすればよいのか、このようなことをしている、これからこうしていきたいというはつきりした意見をいただきました。得しながら聞いていました。

私は、この「子ども議会」でたくさんさんのことを学び知りました。このことを、将来生かされるようにしていきたいです。

本番が楽しみに

なってきた

2年 松場 大起

僕は、最初「子ども議会」と聞いてまったくピンとこなかったけれど、調べていくうちに、考えていくうちにどんどん本番が楽しみになっていき

ました。「ジリジリ」と、開始のベルがなって僕は一気に緊張した。楽しみにしていたのに、急にすごく緊張して固くなってしまった。

僕は4班で発表するのは一番最後だった。僕はそれまでに前の班の発表を見て、どんな感じか分かっておこうと思っ

て聞いていた。それぞれ、自分の思っていること、考えていることをしっかりと大きな声で発表できていてすごいと思いました。そして、自分たちの番が回ってきた。自分が思っていたよりも緊張して、いつも通りにはやりにくかった。でも、できるだけ落ち着いて、ゆっくり発表しようと思いつつ発表しました。

前にもたくさん人がいて、前を向きにくかったけど、できるだけ前も意識し



1班 (戸上新太・三浦志穂・岡本悠佑・下垣七海)

かまずに言えてよかったです。

私は「病院や食材の買い物に行けないなどのお年寄りに対してどのような支援をしているか」と聞きました。そして、町長さんが答弁をしてくれました。私は、その内容でいろいろ思うことができました。それ

ました。発表が終わり、席につくと、町長さん、またその担当の方が詳しく説明してくれて、ものすごく分かりやすかったです。

こんな機会は、もう二度と無いと思うのでとてもいい体験になりました。

お年寄りにどんな

支援をしているか

3年 三浦 志穂

8月4日に、「子ども議会」があり、八幡中学

校が参加しました。私は、議会の事は何も知らないもので、説明を聞いたりしてもあまり分かりませんでした。でも、議場へ入ったら、なぜかは分からないけどすごく緊張しました。

9時30分から始まり、町長さんなどのあいさつがありました。私は1班だったので、ずっと深呼吸をしていました。呼ばれて、原稿を読みました。

は、私は病院に行けないなどの、一人で暮らすことが大変な人はどうするのかと思つて質問しました。でも、答弁は、外出支援をしているなどもあったけど、私が「なるほど」と思ったのは「元気な老人をつくる」ということです。

私は、「元気な老人をつくる」という考えはまったくなかったのでそういう考えもあるんだと思いました。介護はどうするのかわからなく、できるだけ自分で生活ができる人を増やすことが周りの人や、自分自身も、いいんじゃないかと思えます。そのため、集団検診を行うなどの取り組みをしていることが分かりました。他にも、介護施設や介護職員が足りていることも分かったし、公園を設置しても、後の管理が大変ということも分かり

ました。

「子ども議会」をして、自分が気付いてないだけでいろいろ案などがあるんだなと思いました。そして、直した方がいいなと思つてるところも、理由があるからそうなつていて、深く、深く考えることができて良かったです。

自分が、清水のことを知らないこともあるのが分かったし、議会もどういふものなのかも分かりました。町や清水のことについて、少しは、詳しく質問などができまし、町や清水のことが、もつと分かった気がしました。

質問の答えはどう

返ってくるか楽しみだ

3年 林 蒼河

1学期の頭に「子ども議会」のことを聞いたときは正直さっぱりでした。議会の内容を聞いてもイ



3班 (梅本寧々・亀井彩花・下垣琴海・林蒼河・松井孝琉)

それと場の空気感がそこまで張り詰めた感じじゃなくて緊張が和らぎました。そこから休憩時間になるまでひたすら話を聞いていただけでしたが、質問に対しての返答がかなり細かく丁寧だったのですごくいいと思いました。

マイチピンと来ませんでした。でも、議会に向けての活動を始めてからは違いました。どんな質問をしているか、その答えはどう返ってくるのか、いろいろ考えることができて楽しかったです。当日、議場について思ったのが「予想以上に狭い」

町のことを決めるための場所なのでもう少し大きいと思っていました。

なつて前に出ましたが、座っていたときと変わりがなくいられました。演台の前に立つと部屋が少し広がって見えました。自分たちで用意した資料を真剣に見てもらえてうれしかったです。質問で一番気になつていたところをしっかりと答えをもらえたので疑問が残らずスッキリしました。

今回、「子ども議会」に参加することができて

とても良かったです。自分たちの身の回りの状況やそれに対する町の動きなどを知ることができたし、どんな人たちが町のことを考えてくれているのかなどを知れました。実際とは少し違うかもしれないけど、議会がどんな感じで進むのかの雰囲気も感じとれました。町のためにはとても深く考えてマイナス点がないようにするのは大変だと思えました。一緒に自分はこのために何ができるのか、できるなら何かをして少しでも自分の育った町のためになりたいと思いました。

今回この貴重な体験ができて良かったので、そのことと分かったことや学ぶことができたいろいろなことを忘れずに、これから頑張っていきたいです。

善意で成立「教育ゆめ基金」1,000万円
金屋文化保健センター大規模改修工事 3億1,822万円
消防救助工作車購入 9,455万円

一般会計補正予算 1億4,228万6千円

【主な事業を紹介します】

単位 万円

項 目	金額	主 な 事 業
総 務 費	財産管理費	208 商工会横の建物半分撤去、尾中集会所改修補助金
	行政及び出張所	159 出張所臨時雇金2人分
	地方創生推進交付金事業	1,060 絵本コンクール、展示会など
民 生 費	老人福祉費	105 寄付金で訪問用軽自動車購入
農林水産業費	農業振興費	2,307 ふみこ農園にテストキッチン設置補助金、グリーンツーリズム推進事業補助金など
	畜産業費	196 畜産経営者へ糞尿などの処理のための機械購入補助
商 工 費	観光費	60 しみずまちづくり愛好会補助金（イルミテラスなど）木工センター外壁修繕工事
土 木 費	土木総務費	26 木造住宅耐震改修事業補助金（耐震ベッド購入補助など）
消 防 費	消防施設費	92 消火栓ボックス、格納庫、消防施設整備事業補助金
	災害対策費	150 熊井、歓喜寺、宇井苔へ自主防災機材購入
教 育 費	小学校教育振興費	50 寄付による図書購入
	中学校教育振興費	50 寄付による図書購入
	体育施設費	1,668 東グラウンド防球フェンス改修工事
	基金費	1,000 寄付により、教育ゆめ基金を創設し基金として積立

【各特別会計補正予算】

単位 万円

項 目	金額	主 な 事 業
国民健康保険事業特別会計	7,255	診療報酬請求、療養給付費等負担金返納など
後期高齢者医療特別会計	115	一日・脳ドック助成金など
簡易水道事業特別会計	1,407	過疎対策事業債など
公共下水道事業特別会計	316	下水道施設内修繕など
農業集落排水事業特別会計	916	田殿、吉原浄化センター内修繕など
水道事業会計	15,076	施設管理と検針業務の3年間の債務負担行為

【質疑】 非常勤職員報酬約106万円の内容はどうか。

福祉保健部長 自立に向けたケアプランの作成に取り組みための人件費である。主に要支援1・2の軽度の方を自立に導くための県のモデル事業として選定された。

【質疑】 介護給付費を抑制するために自立させる指導を行っている。

しかし、自立にむけた取り組みが強引にならないように求める。

福祉保健部長 状況に応じて取り組んでいきたい。

条例の制定、一部改正

◎教育ゆめ基金条例の制定

「教育および子育ての環境整備を進めるための事業資金に活用1000万円」

◎地方活力量上地域にお

ける固定資産税の特別措置に関する条例の制定「東京23区に本社がある企業が地方へ移転した場合固定資産税を3年間減額する措置」

【質疑】 地方活力量上地域特定業務施設整備事業を記載した地域再生計画は、

県単独か県と市町村が共同して作成する。有田川町もしくは1市3町で計画しているのか。

産業振興部長 1市3町で計画している。

【質疑】 現実に企業が当町に来る可能性があるか。

産業振興部長 当町に来る可能性は、現実的に厳しいと思う。

【質疑】 誘致した企業の撤退を防止する措置やペナルティーはあるのか。

産業振興部長 撤退を防止する措置やペナルティーはない。

【質疑】 不均一課税を行なったらその減収分は普通

交付税で措置されるのか。

産業振興部長 不均一分の75%を交付税で措置していただけ。

【質疑】 仮に企業がくる前提で考えると有田川町内ではどの地域が入っているか。

産業振興部長 地方活力量上地域、移転型は、「三田、清水、久野原、熊井、奥、吉見、土生、西丹生園、徳田」があてはまる。

拡充型では「熊井、奥、吉見、土生、西丹生園、徳田、修理川」の地域である。

【質疑】 この条例をもとに実際に企業から話があったか。

町長 現在のところはな

規約の変更

◎和歌山県市町村総合事務

組合規約の変更

「退職手当の支給に関する事務を紀南環境衛生施設事務組合と共同処理するための変更」

計画の策定

◎辺地総合整備計画の策定
「板尾地区防火水槽設置」

請負契約

◎金屋文化保健センター大規模改修工事（建築）の請負契約

1億1005万円

◎金屋文化保健センター大規模改修工事（機械設備）の請負契約

9477万円

◎金屋文化保健センター大規模改修工事（電気設備）の請負契約

1億1340万円



改修工事する金屋文化保健センター

【質疑】 11社指名になつて

いるが、入札前に6社が辞退し、実際入札に参加したのは5社である。

このことを議員は知らない。この議案の提案の仕方はどうか。

町長 指名にあたり、指名資格審査会を開いて決めるが、ある程度の数を指名しておかないと欠席された場合、少ない業者数での入札となる。

辞退した場合、議員にも知らせたい。

質疑 辞退した業者も数に入れて議案として出している。実際の入札参加業者数で提出すべきではないか。

町長 入札時点で辞退者は分かっている。今後は入札参加業者のみを載せたい。全員協議会で議員に説明させていただく。

質疑 文化保健センターの改修についての説明を求め。全体で約3億円もかけて改修する。今後どのくらい安心して施設を利用できるか。

総務政策部長 雨漏りの改修、受電施設の老朽化による改修、空調施設が老朽化し冷暖房が効かないので改修する。

また、文化ホールの天井やエレベーターの耐震工事をする。今後20年は使えるようにしていく。長持ちする保障はないが仮に落ち度があればその都度改修してもらう。



消防救助工作車（同型購入）

◎消防救助工作車購入
9455万円

財産の取得

質疑 文化保健センター施設の今までの経緯はどうか。

副町長 文化保健センターは平成6年に建設された。建物はグレードの高い立派な施設である。多くの町内外の方に利用されている。今回の改修工事は経年劣化による補修箇所が多くなった。

吉備地域の給水件数は6402件、前年比1.7%増加。給水人口は1万6048人。前年比139人の増加。

収支は、純利益が1億1330万2000円の赤字で未処分利益など入れると2億9948万7000円。営業利益は2321万2000円の増益。

また、平成28年度には減債積立金が3200万

今後、災害時の対応も含め、安心して飲める安定した水の供給体制づくりも要望して認定することになりました。

**水道事業会計
決算報告**

平成27年度水道事業会計剰余金の処分および決算認定

決算認定

円、建設改良積立金1億2000万円を新たに積立てる。

企業債未償還残額は7億4653万1000円で昨年よりも7027万3000円の減少となる。供給単価は165円74銭、給水原価が127円45銭であるため料金収入のみで必要経費が賄なわれている。



請願の審査結果

請 願 名	付 託 委 員 会	審 査 結 果
介護報酬の緊急再改定を求める請願書	総務文教福祉常任委員会	採択
後期高齢者医療制度の保険料軽減特例の継続に関する請願	産業建設住民常任委員会	継続
後期高齢者医療制度の保険料に関する請願	産業建設住民常任委員会	継続

決算審査特別
委員会委員構成

◎は委員長
○は副委員長

橋爪 弘典
○小林 英世
谷畑 進
辻岡 俊明
林 宣男
森本 明
殿井 堯
岡 省吾
森谷 信哉
堀江眞智子
中山 進
新家 弘
湊 正剛
増谷 憲

*佐々木議長と亀井監査
委員除く

*平成27年度一般会計決
算ならびに各特別会計
決算は休会中に審査さ
れ、12月定例会におい
て審議します。

有田川町自主防災組織設置状況

(○は10月1日現在設置済み)

奥徳田	上徳田	下徳田	吉見	西丹生	東丹生	畑浦	垣倉	庄二	庄一	上島	長角	尾出	長谷	船坂	田賢	井口	大谷	田賀	野田	小島	明寺	熊井	熊井	水尻	土生	植野	高瀬	北筋	一松	天満	吉備地区					
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
西園	延坂	沼田	青田	有原	本堂	中峰	西ヶ	西ヶ	畦ヶ	瀬井	彦ヶ	立石	川口	岩野	長谷	金屋	中井	市原	中野	小川	小川	小川	小川	吉田	伏羊	歓喜	松原	宇井	修理	糸川	吉原	金屋地区	県営住宅	秋葉		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
沼谷	押手	杉野	板尾	井谷	室川	上湯	下湯	久野	清水	大蔵	宮川	三井	遠井	楠本	境川	日川	二川	東谷	三川	北野	二川	川合	中原	栗生	清水地区	西村	上川	黒松	釜中	下川	糸野	丹生	生石	小原	尾上	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成27年度 有田川町健全化判断比率報告 (単位：%)

	比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	13.31	20
連結実質赤字比率	—	18.31	30
実質公債費比率	10.5	25	35
将来負担比率	44.2	350	

実質赤字額または連結実質赤字額がない場合は、「—」表示

平成27年度 有田川町資金不足比率報告 (単位：%)

特 別 会 計	比率	経営健全化基準
水道事業	—	20
簡易水道事業	—	20
公共下水道事業	—	20
農業集落排水事業	—	20
簡易排水事業	—	20
浄化槽事業	—	20
かなや明恵峡温泉事業	—	20

資金不足額がない場合は、「—」表示

総務大臣感謝状

橋爪弘典 議員

35年以上にわたり町議会議員として地方自治の発展に顕著な功労が認められ、総務大臣から感謝状が贈呈されました。



平成28年度 有田川町議会議員及び町民代表者
総務大臣感謝状贈呈式

産業建設住民常任委員会視察報告

地域内資源「木材」を 活用したまちと村の取り組み

委員長 殿井 堯

環境未来都市の 下川町

8月30日から9月1日にかけて、北海道下川町と占冠村で視察研修を行いました。

下川町は人口35

00人。町面積の9割が森林に囲まれ、森を財産として、森とともに生きる「循環型森林経営」をいち早く確立した町です。森の恵みを無駄なく使い、暮らしに生かす。国からは「環境未来都市」に認定されています。NPO法人「しもかわ観光協会」が主



一の橋熱供給施設から住宅や施設を暖房しています

催する「バイオマスツアー」に参加。担当職員より概要説明を受けた後、役場周辺熱供給システム、木質原料製造施設、一の橋地区バイオブリッジを見学しました。

占冠村は、人口1200人、北海道のほぼ中央に位置する村です。村内の「湯の沢温泉」

新まきボイラー利用の温泉 占冠村

燃料であるチップをボイラーへ投入するのも自動化され、運転コストが低いというメリットがあると感じました。

として実現しています。

バイオブリッジは、暖房・給湯などにバイオマスの熱を利用し、雪かきをせずに一通りの生活ができる仕組みの集住化住宅

として実現しています。

施設は国の高率補助金を活用して整備され、「チップパー機」で木を粉碎し、できあがった木質原料（チップ）をボイラーで燃やし、学校や病院、個人住宅内を暖める仕組みにより、効率化を図っています。

NPO法人「占冠・村づくり観光協会」は、「道の駅自然体験しむかつぶ」「ニニウキャンプ場」などでさまざまな観光振興業務を行っています。なお、村は年間1950万円の指定管理料を

払っています。

薪ボイラーは、初期投資をおさえ、雇用対策の一環として、人の手で薪を投入しています。燃料の薪は、1立方メートルあたり1万3千円で買い取り、年間の薪代は約250万円です。お湯を急に沸かし

たりしなければならぬと、薪ボイラーも活用しながら燃料代は年間約400万円です。

で、施設の熱源である、薪ボイラー施設とバイオマス生産組合（薪を生産）を見学しました。



薪ボイラーを見学する議員

有田川町は木材の量や 搬出費用が課題か

有田川町でも木質エネルギーを活用していくためには、地形・植栽されている樹種などの十分な検討が必要であり、木材の確保や購入原価の設定などを今後さらに検証していく必要があると感じました。



「ようこそ有田川町へ」ウェルカムパーティー in ALEC



ゆかたで歓迎

求む!



広報委員会では、議
会広報誌「かわら版」
の表紙を飾る写真・イ
ラストなど、町民の皆
さんから募らせていた
だいております。

有田川町の名所や風
景など、お気軽にご応募
ください。

皆さんからのご意見、
ご感想もお待ちしてい
ます。

議会広報編集

特別委員会

- ◎ 増谷 憲
- 小林 英世

- 谷 焄 進
- 辻 岡 俊 明
- 林 宣 吾
- 岡 省 吾

◎は委員長
○は副委員長

編集後記

秋という言葉から何を
想像するだろうか。

一般的には「食欲の
秋」「行楽の秋」「紅葉
の秋」などを思いつくが、
私にとっての「秋」とは
何であろうか。

厳しい寒風が吹きすさ
ぶ冬に、満開の花が咲き
誇る春に、焼けつくよう
な眩しい日差しに夏に、
移りゆく四季を全身で感
じながら、球児と一緒に
夢を追い求めた「スポー
ツの秋」だろうか。

それとも、何事にもわ
がままな私をひたすらに
支え続け、人生の哀歓を
共に過ごした大切なひと
への昔年に浸る「感傷の
秋」だろうか。

あれこれと考えていた
ら、いつの間にか「睡眠
の秋」になったようだ。

(林 宣男)

お問い合わせ ☎ 521-2111
吉備庁舎4階 議会事務局まで